

平成31年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

1 結果概況

「内容別の主な結果」の分析

- ・全ての項目で、県の平均正答率を上回っている。
- ・「言語についての知識・理解・技能」に課題がみられる。

「今までの学力変化」の分析

- ・学力は県平均と同様のレベルの伸びを見せている。

「学力の伸びの状況」の分析

- ・上位層、下位層の児童が学力を伸ばしており、中位層の児童は横ばいである。

- 向上した
- 変化なし
- ▼ 低下した

2 内容別の主な結果

同一集団の 成績推移

2 内容別の主な結果

同一集団の成績推移

平成30年度 小学校4年生			平成31年度 小学校5年生			経年変化			
学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			全体正答率			
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	前年度の「県との差」の比較			
6-B	6-C	1	6-B	6-B	0				
63.3	62.0	1.3	54.4	52.3	2.1	0.8	○		
平均正答率(%)			平均正答率(%)			県との差の比較			
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	経年変化			
教科の領域等	話すこと・聞くこと・書くこと	55.8	52.7	3.1	42.8	37.0	5.8	2.7	○
	読むこと	65.2	62.8	2.4	52.9	49.8	3.1	0.7	○
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	65.6	65.3	0.3	57.9	57.2	0.7	0.4	○
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-	-	-
	話す・聞く能力	56.9	53.3	3.6	56.5	50.4	6.1	2.5	○
	書く能力	55.3	52.4	2.9	29.0	23.7	5.3	2.4	○
	読む能力	65.2	62.8	2.4	52.9	49.8	3.1	0.7	○
	言語についての知識・理解・技能	65.6	65.3	0.3	57.9	57.2	0.7	0.4	○
問題形式	選択式	60.9	59.9	1.0	49.8	47.2	2.6	1.6	○
	短答式	67.2	66.1	1.1	59.7	58.2	1.5	0.4	○
	記述式	34.9	27.7	7.2	19.0	12.1	6.9	-0.3	▼

3 今までの学力の変化

草加市

埼玉県

	小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生	中学校1年生	中学校2年生	中学校3年生
高	レベル12					
	レベル11					
	レベル10					
	レベル9					
	レベル8					
	レベル7					
中	レベル6					
	レベル5					
	レベル4					
低	レベル3					
	レベル2					
	レベル1					

【グラフの見方】

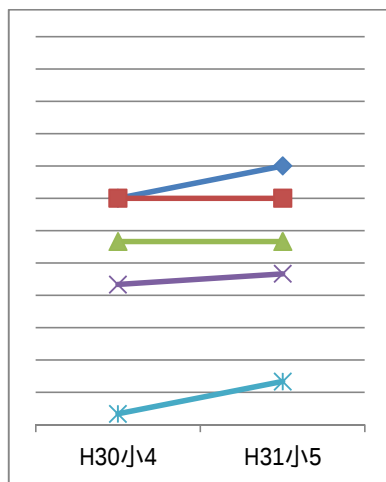
- ・ 基本的な見方は、児童生徒の個人結果票と同様です。
- ・ — は、貴実施主体の当該学年の学力のレベルの平均を表しています。
- ・ — は、当該学年の学力のレベルの県平均を表しています。

【活用の仕方(例)】

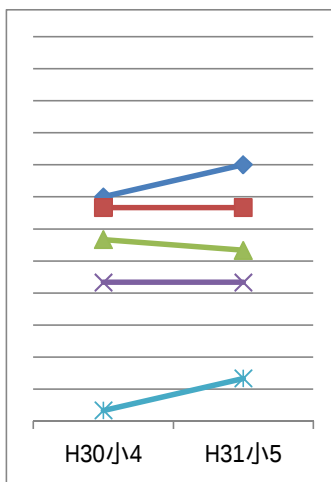
- ① 平成30年度から31年度の「学力の伸び」に着目する。
⇒ 伸び幅が県平均よりも大きい／小さい。
 - ② 平成31年度の学年ごとの学力に着目する。
⇒ 学力が県平均を上回っている／下回っている。
- ※ ①、②のような視点を踏まえ、さらに他の帳票を合わせ見ること、課題となる領域や指導改善の方法などを検討する。

4 学力の伸びの状況

草加市



埼玉県



- 最大値（最も学力が高い児童生徒が属する学力レベル）
- → 75%値（学力の高い順に並べたときに、上から数えて25%に当たる児童生徒が属する学力レベル）
- ▲ → 中央値（学力の高い順に並べたときに、上から数えて50%に当たる児童生徒が属する学力レベル）
- × → 25%値（学力の高い順に並べたときに、上から数えて75%に当たる児童生徒が属する学力レベル）
- * → 最小値（最も学力が低い児童生徒が属する学力レベル）

・指導が必要な項目

【言語についての知識・理解・技能】 選択式 平均正答率 草加市 19.4 埼玉県 21.3 差 -1.9 無解答率 2.1

問題の概要 国語辞典に載っていた意味のうち、文脈に即したものを選択する

出題の趣旨 辞書の正しい使い方を理解する

【書く能力】 記述式 平均正答率 草加市 19.0 埼玉県 12.1 差 6.9 無解答率 45.1

問題の概要 質問したい内容を適切な表現で書いたうえで、その質問をしたい理由を二段落構成で書く

出題の趣旨 目的に応じて理由を挙げながら自分の考えを書く

「言語についての知識・理解・技能」に関する指導について

分析

- ・ 辞書の正しい使い方の理解について平均正答率が低く、県の平均正答率を下回る。
- ・ 目的に応じて理由を挙げながら自分の考えを書くことについて、平均正答率が低い。

指導のポイント

- ・ 国語辞典を活用する機会を増やす。
- ・ 目的に応じて、自分の考えとその理由を書かせる活動を、教科横断的に取り入れる。